

# 〔Daily 日本史〕 ～三大改革～

## 【問】 2003年 駒澤大学 仏教, 文(歴史), 法(政治)

次の文を読んで空欄〔1〕～〔10〕に最も適する語を以下の語群から選び、その記号を答えなさい。  
同一番号の空欄は同一語句である。

江戸時代、将軍職から退いた後も、将軍を後見し、幕政に対して発言力をもち、政治をみるがあった。

江戸幕府を開き、初代将軍となった徳川家康は、幕府を開いた2年後の〔1〕年に将軍職が徳川氏の世襲であることを示すため、子の秀忠に将軍宣下を受けさせ、将軍職を譲った。家康は〔2〕に移り、江戸の秀忠を将軍としてたてながらも、1616年に没するまで実権を握っていた。この時期に行われた政策のひとつに〔3〕の制定がある。

享保の改革を進めた8代将軍吉宗も将軍職を退き、子の〔4〕が9代将軍となった後も政治を後見し、改革政治を浸透させていった。吉宗は、享保の改革では、江戸の都市政策として、それまでの火消とは別に新たに〔5〕を組織させ、また、貧民の救済施設として〔6〕をつくった。

11代将軍〔7〕は、1837年に将軍職を家慶に譲った後も、実権を握り続けた。この時代の政治を大御所政治という。〔7〕は、将軍在任時より約50年にわたり実権を握ったことになる。この〔7〕の時代、文政年間に入ると、将軍や大奥の生活は華美になり、また、庶民の文化も花ひらいた。文学では、政治や社会の出来事が題材にとられ、出版物や貸本屋も普及し、さまざまな作品が庶民の間に広がっていった。庶民生活を描いた人情本の作家〔8〕は「春色梅児誉美」を著した。また、錦絵も隆盛し、〔9〕が描いた風景画「東海道五十三次」など、優れた作品が現れた。しかし、その末年には、天候不順により凶作となり、きびしい飢饉となった。甲斐国郡内地方や三河国加茂郡では大規模な一揆も起こった。このときの飢饉をその年号をとって〔10〕の飢饉という。

### 〔語群〕

- |             |         |         |          |
|-------------|---------|---------|----------|
| ア. 京        | イ. 大名火消 | ウ. 上田秋成 | エ. 家重    |
| オ. 飾北斎      | カ. 天保   | キ. 家斉   | ク. 人足寄場  |
| ケ. 参勤交代     | コ. 1615 | サ. 家治   | シ. 駿府    |
| ス. 天明       | セ. 綱吉   | ソ. 山東京伝 | タ. 東洲斎写楽 |
| チ. 義倉       | ツ. 1605 | テ. 歌川広重 |          |
| ト. 禁中並公家諸法度 |         | ナ. 定火消  | ニ. 家茂    |
| ヌ. 1602     | ネ. 伏見   | ノ. 家宣   | ハ. 惣無事令  |
| ヒ. 小石川養生所   | フ. 町火消  | ヘ. 寛永   | ホ. 為永春水  |

**【解答】**

1 ツ      2 シ      3 ト      4 エ      5 フ

6 ヒ      7 キ      8 ホ      9 テ      10 ス